

平成 24 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

国は「2025年のあるべき医療・介護の姿」を念頭におき、多様なサービスを利用しながら住み慣れた地域で生活を継続することが可能となる『地域包括ケア』の実現を目指しているなか、当法人は中央区北部地域包括支援センター事業を受託し、開設することができましたことは、今まで以上に地域における福祉の担い手としてのノウハウを持つことができました。先般、大阪市の行政改革の一環として西区地域包括支援センター事業の公募に、社会医療法人きつこう会と連携し「医療と介護の連携」をポイントとした内容で応募しましたが、受託には至りませんでした。しかし、今後も法人が目指すところであるという認識を深めましたことは意義があったと確信しております。

また、今年度は3年後のビジョン『亀望会で働けることに価値を見出し、誇りを持つ』にむかってその2年目として各事業が、5つの視点（地域貢献・顧客・財務・業務プロセス・人財育成）で取り組みました。

今年度は昨年と比べ離職者が多く、減収の要因の一つとなりましたが、組織体制、キャリアアップ制度の構築、人財育成のカリキュラムの充実など積極的に基盤づくりに取り組みました。

業務改善の「アクションプラン」については、一段とレベルアップした内容となり、職員全体のモチベーションがあがったことは、今後、更なる飛躍に繋がると確信を持つことができました。また、地域の方々に身近な施設として、利用していただきやすいよう「こすもすカフェ」の営業の試みは、地道ではありますが、継続することで「地域の立ち寄りどころ」としての役割を果たすことができました。また、認知症の啓発活動についても引き続き、力を注いでまいりたいと思っております。

1. 特別養護老人ホーム事業

平成24年度は「個別ケアの充実」と「科学的根拠に基づいた介護の実践」を目標として、自分らしく生活を送っていただけるよう配慮し、満足度の高いサービスが提供できる取り組みをおこないました。また、施設にて最期を迎えていただく看取りケアについても、19名の入所者を看取らせていただきました。

※平成24年度退所者34名（内死亡：看取り19名・病院4名、長期入院10名、その他1名）

(1) 生活支援

①生活相談

入所者本人及び家族からの相談や苦情に対し迅速に対応かつ解決し、安心して生活をしていただけるよう努めました。

②施設サービス計画

入所者の持っている力を最大限に発揮してもらうために細やかなアセスメントを実施し、施設における生活がその人らしく暮らせる場として提供できるように努めました。

施設サービス計画書をよりわかりやすい言葉で具体的に示し、ケアの方向性を本人、家族、職員に伝えることで本人らしい生活を送っていただけるよう努めました。

③地域貢献の視点

地域貢献として取り組んできた「こすもすカフェ」も、今年度は開催日を毎月第二木曜日に固定して行い、季節に合わせた様々なメニューやイベントも取り入れました。常連のお客様も増加し、知名度も上がってきました。

地域交流の取り組みとして、地域のボランティア活動の拠点としての機能を果たすとともに、多方面から実習生を受け入れ、また、受け入れに関するマニュアル作成等にも力を入れて取り組みました。

④顧客の視点

認知症ケアについて、その人らしい個別的なプランに基づくケアを目標に、認知症アドバイザーから取り組み方法や観察方法について助言をいただき、科学的根拠に基づいた個別的プランの実践をおこなうことができました。

入浴のあり方について、入浴検討委員会で安楽・安全性の確保を再検討し、入浴ケアの改善にむけた取り組みをおこないました。

⑤財務の視点

排せつ方法や排せつ物品の見直しを定期的におこない、個人にあった排せつケアの見直しを図り、排せつ物品の削減など経費削減へと繋げることができました。

⑥業務プロセスの視点

パソコンソフトの新システムを導入し、有効活用することで他職種間との情報共有や業務の効率化を図ることができました。

⑦人財育成の視点

介護職員、看護職員、管理栄養士、相談員のすべての専門職が連携し、総合的なケアの向上に努めました。

施設内研修、外部研修へ積極的に参加させ、知識や技術の習得により個人の質の向上と全体のレベルアップに努めました。

(2) 健康管理

ケアの基本である「生活を整える」ためには、疾患の基礎的理解が必要であることから、介護職員への医療的な知識を積極的に指導伝達するとともに連携強化に努めました。

看取りケアにおいては、施設で穏やかな最期を迎えていただけるよう、すべての職種が連携し支援しました。

平成24年度から一定条件の下での介護職員による口腔内痰吸引等がおこなえることとなり、介護職員への医療的な知識及び実技を看護師が、指導伝達することで入所者へのより安全なケアの提供と介護職員のスキルアップに繋がる努力を行いました。

感染性胃腸炎が流行し、保健所指導の下、管理医師の協力を得、マニュアルに基づきすべての職種が連携し、対応することで早期終息へとつなげました。

(3) 栄養管理

前年に引き続き、夏場の「冷やし素麺」、冬場の「鍋料理」と、今年も少人数でゆったりと落ち着いた雰囲気で食事を楽しんでいただきました。普段、口数の少ない方が若かりし頃の話やご家族の話を聞いたりし、新たな一面を発見することができました。

このような情報を栄養ケアマネジメントや日々の食事に生かすことができました。

(4) その他の取り組み

安全対策として各専門職が協働し、事故予防策の見直しに対して積極的に取り組み、事故予防に対する職員の意識向上を図ることができました。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス全般においては、業務改善や研修の機会を増やすことにより質の高いサービスを提供できるよう取り組みました。

その結果、大きな事故等もなく「在宅支援」という大きな目標を達成し、利用者やその家族に安心して利用して頂けるサービスを提供することができました。

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

施設で過ごされた様子をご家族様に知っていただくために、送迎時やご自宅への連絡にて報告するなど、連携を密に取ることで、信頼関係を構築することができました。

緊急入所の依頼に対しても積極的に受け入れ、少しでも多くの方に利用していただけるよう努めました。

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

西区唯一の通所介護365日営業も8年目を迎え、利用者・介護支援専門員を含め地域に認知されてきている結果として、元旦の利用者も例年通り10名前後の利用があり、なかでも独り暮らしの方の利用が半数以上を占め、地域の方の居場所として機能することができています。

サービスの内容については、介護保険制度の改定により利用時間の大幅な変更がありましたが、運転職員を採用することで個々のニーズに少しずつ対応することができています。

次年度は「自立支援」を合言葉に、利用者が持つ機能を可能な限り活かすことができる環境づくりと、介護の手法を見直すことで、利用者本人が生きがいを持ち続け、介護する家族の負担を減らすことができる支援の強化に努めていきます。

(3) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

西区地域包括支援センター総合相談窓口業務の委託を受け7年が経過しました。

ここ数年と同様に居宅介護支援事業への業務の比重が大きくなっている事に変わりなく、地域の認知度も少しずつではありますが、高くなっており、相談件数も増えてきました。

西区地域包括支援センターや地域各種関係者との連携および地域活動については、小中学校での福祉教育に参加したり、出前講座として認知症サポーター養成講座を積極的に開催しました。また、大阪市委託事業である家族介護者教室を西区地域包括支援センターと共催することにより、多くの地域住民の方々との交流の機会を設けることができました。次年度もこのような機会をより多く設け、継続して取り組んでいきます。

居宅介護支援事業としては、高齢者人口の少ない西区において、月平均120件の要支援・要介護ケースを確保できた事は大いに評価できる内容でした。引き続き特定事業所加算Ⅱの算定に見合った事業所の運営、介護支援専門員の質の向上に向けて努力していきます。

(4) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

介護保険制度の改定に伴い、従来までと比較して1回あたりの派遣時間が軒並み少なくなり、そのなかで同じサービスを求められるため、調整に時間がかかった事例が目立ちました。

しかしながら、利用者が抱える課題をチームで分析し、専門的な視点で関わり効果を上げた取り組みは、法人全体の発表会でも評価をいただき、チームワーク向上にもつながっています。

次年度も引き続きより多くの利用者に満足していただけるよう取り組んでいきます。

(5) 地域包括支援センター（中央区北部）

開設1年目となる今年度の総合相談件数は2,556件、相談実人数は571名となりました。開設月の相談件数は100件程度でしたが、地域に少しずつ知られることで月平均相談件数は約200件となりました。

介護支援専門員からの相談件数も440件となり、地域の介護支援専門員への後方支援の機会に比例し、信頼関係も深まっています。

高齢者虐待や処遇困難ケースに対しては地域ケア会議を21回、サービス利用調整会議を21回行い、行政や地域の関連機関と連携を図り問題解決を図りました。

中央区認知症支援ネットワーク（C o C o ネットちゅおう）や中央区地域ケア研究集会、各介護保険事業所の連絡会及び家族会などの事務局として地域のネットワーク作りに貢献しました。

介護予防への取り組みとして介護予防事業への利用を積極的に勧め、88件の二次予防事業対象者介護予防ケアプランを作成しました。また指定介護予防支援事業者として月平均225件（一部委託含む）の指定介護予防ケアプランに携わりました。

事業評価については開設初年度にも関わらず、大阪市の評価基準を全て満たすことができました。来年度においても評価基準を満たす運営を行い、地域に信頼される地域包括支援センターを目指します。

3. 診療所事業

昨年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。昨年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、また、感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

ケアハウスでは、入所を継続する中で日常生活に何らかの支援が必要な方もおられ、できるだけ住み慣れた施設（環境）で暮らし続けたいという入所者の思いを達成するため、「いつまでも施設に暮らし続けるために」という方針を掲げ、色々な機会を通じて、入所者や職員に提示し、具体的に取り組みました。

また、その方針を達成するため、特に亀望会の居宅介護支援事業所との情報の共有化を図り、さらにきつこう会多根総合病院をはじめ医療機関、介護保険サービス事業者との連携により安心して暮らせる支援にも取り組みました。

(1) 地域貢献の視点

地域貢献、地域交流の取り組みとして、創立記念祭や敬老祝賀会の際に地域老人クラブの会員様を招待し、地域に暮らす高齢者とも交流を深めました。

また、できるだけ入所者が孤立しないよう社会とのつながりを保つため、地域活動を行うことを計画していましたが、準備が整わず、実行できなかったので次年度の課題となりました。

一方、清掃業務等への障害者雇用を行い、継続的な就労につなげることができましたが、災害時拠点施設となることによる準備がほとんど取り組めなかったので、次年度の課題となりました。

(2) 顧客の視点

入所者のケース担当制を導入し、定期的なケース会議の開催、定期訪問等により入所者のニーズ把握を行い、すべての入所者の個別支援計画の立案と実施を行うことができました。ただし、新規の入所者への対応に課題が残り入所継続のための具体的な取り組みが次年度の課題となりました。

また、集団としてのニーズを把握するため、初めて施設懇談会を開催し、課題解決に取り組めました。

一方、重度化への対応は、対象者が少なく経験を積めるだけの支援の機会がありませんでした。

(3) 財務の視点

職員がそれぞれコスト意識を高めることにより予算の範囲での支出執行ができました。

また、夏と冬の節電対策を通じて入所者と職員が協力して前年度と比べて光熱水費（電気・水道・ガス）を約50万円削減できました。

一方、サービス有料化の方向性は大阪市福祉局との調整も踏まえて、次年度以降の課題として持ち越しました。さらに、長期修繕計画立案の検討は基礎資料の作成までしか取り組めなかったので、次年度の課題となりました。

(4) 業務プロセスの視点

効率的業務遂行のため、日直制の導入や入浴曜日固定に取り組み、一定の成果を得ることができました。ただし、十分な評価ができたとは言えず、次年度の課題となりました。

また、ケース記録、個別支援計画等の情報の共有化を図るべく、新たなサーバーを導入し、情報の共有化への準備を整えることができました。有効な活用を段階的に実施していくことが次年度の課題となりました。

(5) 人財育成の視点

上半期は職員が計画的に外部研修を受講することができましたが、下半期は職員の退職に伴い、研修受講の機会をほとんど作ることはできませんでした。

また、新任職員プログラムの作成にも取り組みましたが、十分な内容ではないため、次年度の課題となりました。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

①入所者利用状況（H24.4.1～H25.3.31）

ア. 平均年齢 全体 男女別（H25.3.31現在）

男性	21名・84.0歳	女性	79名・87.8歳	平均年齢	100名・85.9歳
----	-----------	----	-----------	------	------------

イ. 日常生活動作調査（対象者100名）（H25.3.31現在）

区分	移動			食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	11	38	51	48	29	23	9	25	66	2	20	78	7	27	66

区分	整容			意思疎通			寝返り			車いす使用			認知症 老人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数(名)	5	39	56	29	41	30	44	13	43	7	24	53	91

ウ. 年間延べ利用者数合計等（人）

年間延べ利用者数合計		36,396
介護 度 別	要介護度1	730
	要介護度2	2,495
	要介護度3	5,661
	要介護度4	12,011
	要介護度5	15,499
年間延べ入院及び外泊者数		787
年間延べ空床数（床）		777
年間退所者数		34

②主な行事および活動

ア. 行事

日付	行事名	備考
平成24年 4月13日	土佐稲荷神社 お花見	公園内の桜の鑑賞や神社での参拝などで気分転換していただきました。(6名)
4月16日	造幣局	造幣局に咲いている何種類もの桜を鑑賞し、春の訪れを感じていただきました。(7名)
5月8日 11・16日 6月7・11日	うつぼ公園 バラ園	うつぼ公園でのバラ園散策日とバラ園内でお弁当を召し上がっていただく日を設け、季節を感じていただきました。(18名)
5月31日	鞆幼稚園	園児による合唱や入所者への肩たたきなどサービス満点の楽しい交流会となりました。
6月29日	鉄板まつり	1階の喫茶ルームでたこ焼き、焼きそばなどを入所者の前で焼き、屋台の雰囲気ですまし上げていただきました。
7月17・18日 24日	中央卸売市場内 たちばな(寿司)	お寿司屋へ出掛け、景色を眺めながら好きなお寿司を召し上げていただきました(6名)
7月17日	子供みこし	施設の前で子供みこしを披露していただき、太鼓の音色を楽しまれました。
7月22・25日	すいか割り	夏の風物詩、「すいか割り」を楽しんでいただきました。
8月10日	野球観戦 京セラドーム	野球好きの男性入所者と野球観戦に出掛け、一生懸命応援されていました。(3名)
8月19・20日 24・25日	地域の盆踊り	地域における盆踊りに参加し、地域との交流を楽しんでいただきました。(12名)
8月27日	夏祭り	模擬店や盆踊りなどボランティアの協力も得て、盛大に夏祭りをおこないました。入所者及び家族、関係者の皆様にも楽しんでいただきました。
9月6日・8日	花火	夏の終わりに花火を楽しんでいただきました。
9月20日	敬老祝賀会 (八昇会)	八昇会の皆様に太鼓や唄を披露していただき、楽しいひと時を過ごされました。
9月28日	低カロリーバイキング	ホテル内にあるバイキングに出掛け、好きなものをお好きなだけ召し上げていただき、満足感いっぱいの様子でした。(2名)
10月4日 ～18日	西区高齢者施設 合同展示会	出展に向け、入所者で力を合わせて創作活動をおこない、多くの方々に観ていただき、称賛されたことに喜びを感じておられました。
10月16日 23日	心齋橋散策	道頓堀川沿いを散歩し、「づぼらや」で昼食を召し上げていただきました。(6名)

10月19日	西保育所	保育所の子供たちによる合唱や入所者への肩たたきなどサービス満点の楽しい交流会となりました。
11月25日 26・28日	秋の味覚まつり	焼き芋を施設内で焼き、秋の味覚を楽しんでいただきました。
11月27日 1月18日	料亭 やまぐち	料亭の雰囲気味わいながら、お好きなメニューを選び、食事を楽しんでいただきました。(4名)
12月11日 13・14・18日	クリスマス会	職員が入所者一人ひとりに合ったプレゼントを配り、職員の仮装や夕食時にはステーキを食べていただくなど楽しいひと時を過ごしていただきました。
12月19日 1月7・15日	御堂筋イルミネーション	淀屋橋から長堀通りにかけて設置された御堂筋イルミネーションを車内より見て楽しんでいただきました。(3名)
12月27日	もちつき	つきたてのお餅にあんこや大根おろし、きなこなどお好きな味で召し上がっていただきました。
平成25年 1月1日	新年祝賀会	施設長の挨拶で始まり、おせち料理やお屠蘇を提供し、新年のお祝いをしました。
3月4日	鞆幼稚園慰問	園児による合唱や入所者への肩たたきなどサービス満点の楽しい交流会となりました。
3月16日	ボランティアによる歌	昔懐かしい歌を披露していただき、昔を思い出しながら一緒に歌われていました。

イ. 面会・外出・外泊状況集計表(H24.4.1~H25.3.31)

月平均面会回数

24回以上	~12回	~6回	~3回	~2回	~1回	~0回
7名	14名	21名	18名	20名	16名	8名

外出回数

24回以上	~12回	~6回	~3回	~2回	~1回	~0回
2名	1名	2名	4名	4名	6名	85名

外泊回数

24回以上	~12回	~6回	~3回	~2回	~1回	~0回
0名	0名	0名	0名	1名	2名	101名

ウ. 自衛消防訓練等実施状況

年月日	内容	備考
平成24年4月18日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成24年6月20日	自衛消防訓練(2F厨房前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成24年10月17日	自衛消防訓練(5F食堂・テイルーム) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練

2. 居宅サービス事業

①短期入所生活介護（ショートステイ）

年間延べ利用者数等（H24. 4. 1～H25. 3. 31）

開設日数（日）	365	
実利用人数（人）	612	
年間延べ利用者数合計（人）	4,799	
介護度別内訳	要支援1（人）	0
	要支援2（人）	8
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	204
	要介護度2（人）	732
	要介護度3（人）	1,965
	要介護度4（人）	1,322
要介護度5（人）	568	
1日平均利用者数（人）	13.1	
送迎（回）	2,011	
平均介護度	3.27	

②通所介護（高齢者デイサービス）

ア. 年間延べ利用者数 等（H24. 4. 1～H25. 3. 31）

開設日数（日）	364	
実利用者数（人）	1,237	
年間延べ利用者数合計（人）	9,087	
介護度別内訳	要支援1（人）	320
	要支援2（人）	960
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	1,015
	要介護度2（人）	3,123
	要介護度3（人）	1,718
	要介護度4（人）	1,249
	要介護度5（人）	702
1日平均利用者数（人）	24.9	
送迎（回）	8,451	
入浴（回）	8,724	
給食（食）	8,996	
平均介護度	2.58	

※台風のため1日間休業

イ. 実利用者数月毎推移表（H24. 4. 1～H25. 3. 31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数	111	109	113	107	109	105	104	111	107	94	98	93

ウ. 利用者の状況 (H25. 3. 31現在)

	一人暮らし世帯	高齢者世帯	子供(家族)と同居	その他	合計
合計	34	20	39	0	93

エ. 主な行事

- ・お花見 (土佐稲荷神社) : 4月2日 (月) ~ 4月15日 (土)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 5月7日 (月) ~ 5月13日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 6月11日 (月) ~ 6月17日 (日)
- ・七夕週間 : 7月1日 (日) ~ 7月7日 (土)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 7月9日 (月) ~ 7月15日 (土)
- ・夏祭り週間 : 8月6日 (月) ~ 8月12日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 9月3日 (月) ~ 9月8日 (土)
- ・敬老週間 : 9月17日 (月) ~ 9月23日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 10月17日 (水)
- ・運動会 : 10月8日 (月) ~ 10月14日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 11月5日 (月) ~ 11月11日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 12月12日 (水)
- ・年忘れ演芸会 : 12月17日 (月) ~ 12月23日 (日)
- ・初詣 (茨住吉神社) : 1月7日 (月) ~ 1月13日 (日)
- ・節分 : 1月28日 (月) ~ 2月3日 (日)

オ. 誕生日会

- ・毎月開催 (利用者の写真入りキーホルダーをプレゼントする。)

カ. クラブ活動

- ・毎月第3週に計算・算盤、書き方(書道・ペン習字)、運動、娯楽の各クラブ活動を実施

③在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況 (H24. 4. 1~H25. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5
相談延件数	15	22	9	14	26	21	17	5	6	14	6	3	158	13.2

イ. 相談内容 (H24. 4. 1~H25. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題														
経済・生活問題	10	1					3	1					15	1.2
介護サービス	2	8	6	3	10	11	12	2	3	11	4	2	74	6.1
介護予防サービス		5	2	6	13	5			3				34	2.8
介護予防事業						2	1						3	0.2
福祉サービス						1							1	0.1
保健医療サービス				1	2	1							4	0.3
虐待											1		1	0.1
成年後見制度	2							1					3	0.2
生きがづくり				1									1	0.1
その他	1	8	1	3	1	1	1	1		3	1	1	22	1.8
合計	15	22	9	14	26	21	17	5	6	14	6	3	158	13.2

(2) 居宅介護支援事業

ア. 年間延べ利用者数 等 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

年間延べ利用者数合計 (人)		1, 408
介護度別内訳	要支援1 (人)	90
	要支援2 (人)	178
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度1 (人)	205
	要介護度2 (人)	436
	要介護度3 (人)	248
	要介護度4 (人)	188
要介護度5 (人)	63	

④訪問介護 (ホームヘルプサービス)

ア. 年間延べ利用者数 等 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

開設日数 (日)		257
実利用人数 (人)		451
生活援助 (時間)		2, 891. 2
身体介護 (時間)		828. 0
派遣時間合計 (時間)		3, 719. 2
年間延べ利用者数合計 (人)		3, 839
介護度別内訳	要支援1 (人)	629
	要支援2 (人)	655
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度1 (人)	960
	要介護度2 (人)	1, 089
	要介護度3 (人)	312
	要介護度4 (人)	234
要介護度5 (人)	0	

イ. 平均年齢 全体 男女別 (H25. 3. 31現在)

男性	9名・83歳	女性	28名・85歳	男女平均年齢	37名・84.5歳
----	--------	----	---------	--------	-----------

ウ. 利用者の状況 (H25. 3. 31現在)

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子供家族 と同居	未婚の子供 と同居	その他	合計
合計	26	6	2	0	3	37

⑤地域包括支援センター（中央区北部）

(1)地域包括介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況(H24. 4. 1～H25. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
相談延件数	98	145	181	236	243	202	265	223	182	262	238	281	2556	213

イ. 相談内容(H24. 4. 1～H25. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	1	1		18	15	7	5	7	12	12	9	19	106	8.8
経済・生活問題			5	5	13	26	9	5	12	16	10	11	112	9.3
介護サービス	29	40	67	6	80	53	73	71	26	32	5	72	666	55.5
介護予防サービス	37	65	42	4	59	28	6	46	43	62	5	78	616	5.0
介護予防事業	8	21	29	47	46	50	63	63	42	52	57	37	515	42.9
福祉サービス	3	1	15	9	4	14	25	14	15	18	14	11	143	11.9
保健医療サービス	6	7	7	6	6	12	6	4	8	4	2	9	77	6.4
虐待	5		7	36	13	6	13	11	23	66	35	31	246	20.5
成年後見制度	3	1	3	3	7		7	1				5	30	2.5
生きがいづくり			1			1	1		1		3		7	0.58
その他	6	9	5	3		5		1			1	8	38	3.1
合計	98	145	181	236	243	202	265	223	182	262	238	281	2556	213

(2)介護予防支援事業

ア. 年間延べ利用者数 等 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

年間延べ利用者数合計 (人)	2, 7 0 1	
介護 度 別 内 訳	要支援1 (人)	4 0 9
	要支援1 (委託) (人)	5 5 2
	要支援1 計 (人)	9 6 1
	要支援2 (人)	8 4 2
	要支援2 (委託) (人)	8 9 8
	要支援2 計 (人)	1, 7 4 0

3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数(H24. 4. 1～H25. 3. 31)

	入所者	職員	合計
年間合計	1,230	55名	1,285
月平均	102.5	4.6	107.1

イ. 健康診断実施状況(H24. 4. 1～H25. 3. 31)

	入所者	職員	ケアハウス	合計
年間合計	235名	180名	25名	440名
月平均	19.6	15.0	2.1	36.7

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況(H24. 4. 1～H25. 3. 31)

入所者	100名	職員	144名	ケアハウス	20名	職員家族	60名	合計	324名
-----	------	----	------	-------	-----	------	-----	----	------

4. ケアハウス コスモスガーデン

ア. 入所者の状況 (H25. 3. 31現在)

平均年齢

全体 82. 3歳	男性 (9名) 81. 2歳	女性 (30名) 82. 6歳
-----------	----------------	-----------------

イ. 日常生活動作調査 (対象者 39名)

区 分	移 動		食 事			排 泄			入 浴		
	自立 歩行	補助 具使用	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	普 通	や や 不 自 由	不 自 由	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助
実数 (名)	33	6	39	0	0	39	0	0	34	5	0

* 補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖を使用している者

ウ. 面会・来客・外泊状況集計表 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

年間面会・来客回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
7名	0名	11名	8名	14名

年間外泊回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
1名	0名	11名	11名	17名

エ. 主な行事

- 4月 創立記念祭 行楽弁当
- 5月 端午の節句&菖蒲湯 おでんバイキング
- 6月 鶴橋風月 アクティブ行事 バイキングランチ
- 7月 七夕&祭事食 ステーキランチ
- 8月 納涼祭
- 9月 敬老祝賀会 お月見祭事食 結核健診
- 10月 健康診断 自衛消防訓練 行楽弁当 スポーツ大会
- 11月 おでんバイキング 寿司ランチ
- 12月 人権研修 バイキングランチ 餅つき 年越しそば
- 1月 新年互礼会 七草粥 小正月 鏡開き&百人一首大会
認知症サポーター研修
- 2月 節分祭事食
- 3月 ひな祭り祭事食 自衛消防訓練 寿司ランチ ステーキランチ
お茶会

オ. その他

- 誕生日会：月1回 和みカフェ：月1回 (年2回お茶会) 移動図書館：月1回・
- 健康相談会：月1回 映画会：月2回 健康体操：月2回 (椅子・床)
- セレクトメニュー昼食：月1回 焼きたてパン：月2回
- 活動クラブ 手芸、カラオケ、麻雀

5. その他

(1) 研修状況

・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
平成24年 4月18日	利用者のプライバシー保護の取組みについて	福祉施設職員として、プライバシー保護の重要性を学ぶ	施設長以下計60名
4月18日	ターミナルケアについて	高齢者の看取りケアを学ぶ	施設長以下計60名
5月16日	救急救命法について	救命処置について、医師より具体的な方法を学ぶ	施設長以下計67名
6月20日	食中毒予防、まん延について	食中毒の原因となる細菌と予防を学ぶ	施設長以下計62名
6月20日	事故防止について	介護のリスクマネジメントの基礎知識と事故防止対策を学ぶ	施設長以下計62名
7月18日	接遇マナーについて	接遇マナーの基本を学ぶ	施設長以下計68名
8月15日	事故防止について	事故防止事例検討会を行う	施設長以下計61名
9月19日	口腔ケアについて	口腔ケアの基礎知識を学ぶ	施設長以下計59名
11月21日	認知症について	認知症及び認知症のケアを学ぶ	施設長以下計53名
12月19日	感染症について	施設内感染症制御等を学ぶ	施設長以下計48名
平成25年 1月16日	機能訓練について	車いすについて学ぶ	施設長以下計51名
1月16日	非常災害時の対応について	地震防災の心構えと取り組みを学ぶ	施設長以下計48名
1月中旬	人権研修	ビデオ鑑賞	施設長以下計65名
2月13日	魅力ある職場について	グループワークを行う	施設長以下計44名
3月13日	伝達研修について	通所介護における選択式レクリエーション実践法・体制づくり・個別ケアを学ぶ	施設長以下計50名
3月13日	身体拘束排除について	身体拘束廃止の取り組みを学ぶ	施設長以下計50名

・施設内研修（階層別研修）

①新任職員研修

主に4月入職の職員について3月29日に実施。入職前に業務内容について学ぶ。計7名受講。

②中堅職員研修

階層別に中堅職員研修を行った。

1) 中堅職員研修Ⅰ（入職2年目の常勤職員）

2クール各1日 計10名が受講。

2) 中堅職員研修Ⅱ（入職3年以上の常勤職員）

1クール3日間（うち、他部署1日研修1日含む）計6名が受講。

③相談員研修

相談業務従事者17名に対し、年5回実施。延参加者人数計56名受講。

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市福祉局など計164回の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

摘 要	人 数
ホーム喫茶（毎水曜日）	2名
おもちゃ作り	7名
夏祭り（住友生命）	50名
敬老会（和太鼓、民謡）	5名
傾聴	1名
もちつき（大阪トヨペット株式会社）	7名
うたのつどい	2名

②通所介護

夏祭り（盆踊り7日間）	のべ21名
施設夏祭り（付き添い）	5名
初詣（茨住吉神社7日間）	のべ21名
演歌・舞踊（6回）	1名
うた楽バンド（歌謡・童謡）（7回）	2名
うた体操（22回）	3名
大阪市の歴史語り（10回）	3名
民謡（三味線・尺八）（7回）	2名
民謡（三味線・太鼓）（3回）	5名
民謡（三味線）（2回）	10名
民謡（三味線）（2回）	1名
ヨガ体操（5回）	3名
腹話術（3回）	1名
歌謡曲（6回）	1名
手品（一般）（1回）	1名
手品（学生）（1回）	5名
ハンドマッサージ（1回）	10名
ボランティア体験（市社協）	2名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	1名	23名	社会福祉士
大阪人間科学大学	1名	23名	社会福祉士
関西社会福祉専門学校	12名	180名	介護福祉士
昇陽高校	3名	32名	介護福祉士
(社団)大阪市母と子の共励会	1名	3名	ホームヘルパー2級
5機関	22名	261名	—

・体験学習

平成24年11月14日～15日 大阪市立花乃井中学校 2年生 4名

平成25年 2月14日～15日 大阪市立西中学校 2年生 5名

・その他

介護等体験（大阪府社会福祉協議会紹介：小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る介護等体験）

学校等の名称	実人数	のべ日数
神戸海星女子学院大学	1名	5日
京都市立芸術大学	2名	10日
星槎大学	1名	7日
関西外国語大学	1名	5日
愛知産業大学短期大学	1名	7日
花園大学	1名	5日
京都文教大学	1名	5日
帝塚山学院大学	1名	5日
東大阪大学短期大学部	1名	5日

(3) 寄付金状況(平成24年度分：日付順)

①コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成24年 8月22日	中野 繁二様	入所者 家族	100,000	特養の運営費に充当
平成24年 8月23日	緒方 正弘様	理事	30,000	特養の運営費に充当
平成24年 8月25日	西区民生委員協議会様 白國 哲司様	理事	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成24年 8月25日	木村 和子様	評議員	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成24年 8月25日	エルパロワイヤル16振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成24年 8月25日	江戸堀連合振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当

平成24年 8月25日	西区健康づくり推進協議会 コスモス会様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成24年 8月25日	竹田 房子様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成24年10月25日	加藤 佳代様	利用者 家 族	30,000	通所介護の運営費に 充当
平成24年12月21日	大阪市民生委員・児童委 員連盟西区支部様	法 人	30,000	特養の運営費に充当
平成24年12月27日	(株)ライフプラン様	法 人	200,000	特養の運営費に充当
平成25年 2月12日	住友生命保険相互会社様	法 人	52,000	特養の運営費に充当
平成25年 2月25日	小島 治子様	入所者 家 族	100,000	特養の運営費に充当
平成25年 3月11日	福山 タミ子様	入所者 家 族	100,000	特養の運営費に充当
平成25年 3月16日	塚本 雅夫様	入所者 家 族	100,000	特養の運営費に充当

②コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	金 額	備 考
平成24年 4月26日	靱楠クラブ様	地 域	5,000	創立記念祭 ケアハウス運営費に充当
平成24年 9月11日	靱楠クラブ様	地 域	5,000	敬老祝賀会 ケアハウス運営費に充当

(4) 寄付物品(平成24年度分：日付順)

①コスモス苑

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個	備 考
平成24年 6月15日	吉田 智栄子様	入所者 後見人	タオル タンボール 2箱分	特養で使用
平成24年 9月 6日	日本たばこ産業(株)様	法 人	たばこ 2カートン	特養入所者に配布
平成24年 9月18日	広教連合振興町会様	地 域	バスタオル 40枚	特養で使用
平成24年11月27日	加藤 佳代様	利用者 家 族	介護用ベッ ド1台	特養で使用

②コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個	備 考
平成24年 4月 1日	木下大サーカス様	法 人	入場券6枚	入所者に配布
平成24年 7月17日	伊藤忠テクノソリューション(株)様	法 人	車いす1台	入所者に利用
平成24年 9月 6日	日本たばこ産業(株)様	法 人	たばこ 3カートン	入所者に配布